

作成日		発行
2019. 11. 01 No.293		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

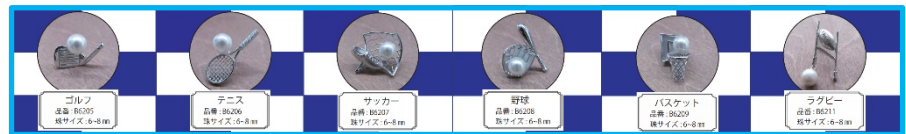
## ラグビーワールドカップ

9月20日から開催されましたラグビーワールドカップは、アジア初の日本開催と日本代表の躍進が重なり、予想以上に盛り上がりました。残念ながら南アフリカには負けてしまいましたが、特にティア1と言われる強豪国のアイルランド、スコットランドに勝利しベスト8に進出したことは、日本ラグビー史上最大の出来事でした。各方面歓喜の中、野球やサッカーなどに比べかなり低かったラグビー熱が一層高まり、日本のラグビー人口が増加することが予想されます。将来の日本ラグビーは、イングランドやオーストラリア、南アフリカなどに匹敵する世界のトップレベルになるであろうと思います。

知っている人も多いかもしれませんが、ラグビーの用語として「One for all, All for one」という言葉があります。その意味は「一人は皆の為に、皆は一人の為に」と思われがちですが、これは実は間違っていて、本当の意味は「一人は皆の為に、皆は一つの目的の為に」だそうです。私達の仕事に置き換えても意味が通じます。「One for all, All for one」とは、一つの目的、つまりゴールの為に皆が役割をしっかりと果たすということですが、全員が一つの目的に向かって機能し、お互いリスペクトし合いフォローしていく、この思想は企業発展の為に欠かせないことと思います。今回の日本代表の勝因は、メンバーの4年間の鍛錬と共に、まさに「One for all, All for one」が試合で成されていたことと言えるでしょう。

ラグビーワールドカップが成功裏であったことで、来年2020年7月に開催される東京オリンピックへの期待も一段と高まっています。オリンピックモードが間近になり、当社では「オリンピックシリーズSV スタットピン」への問い合わせが増加しています。そこで、今年の4月号 (No. 286) に掲載されなかった型を追加提案致します。今後の商戦に是非お役立て下さい。(M. U)

### 「オリンピックシリーズスタットピン」



## 紅葉と楓



紅葉（モミジ）と楓（カエデ）という風には書き分けてありますが、植物分類上ではどちらも同じものです。植物化学的には紅葉も楓も「カエデ」であり、分類上ではカエデ科カエデ属の植物です。

ですが、園芸や盆栽の世界では明確に区別されており、葉の切れ込みの数や切れ込み具合によって呼び分けられています。

大まかには、葉の切れ込みが深く多いものは「モミジ」、切れ込みが浅く少ないものは「カエデ」と呼ばれています。

語源は様々ですが、「モミジ」はベニバナなどの染料を揉み出す「モミヅ」から来ています。染料が染み出すように草木が色づいた様を「モミヂというようになり、「モミジ」となりました。

「カエデ」の語源は、「蛙手（かえるで）」で、葉の形が蛙の手に似ている事から変化して「カエルデ」となり「カエデ」と呼ばれるようになりました。

もうすぐ、紅葉（こうよう）の時期です。違いを見分けて見るのもいいですね (M. S)

## #ゆず活

「ゆず」はお店などで1年を通して目にすることが出来ますが、11月から12月が旬のものです。冬至の日に「ゆず湯」に入るといいと言われているのは有名です。それは、ゆずの木は、寿命が長く病気にもなりにくく強いので、無病息災を祈る風習になったと言われており、実際に風邪予防にも効果が高いそうです。さらに美容効果も高く、健康にもよい効能がたくさんあります。

ゆずに含まれるビタミンCは柑橘類の中でもNO.1とも言われています。ビタミンCはコラーゲンが身体に吸収されるのを助ける働きがあるため、ゆずを食べることで、美白効果だけではなく肌のハリ、ツヤも良くなります。また、ゆずに含まれるナリンギンや抗酸化ビタミンの効果で老化による活性酸素を抑制する効果もあるので、体の中からアンチエイジングできます。さらにヘスペリジンなど血圧や血糖値を下げる働きのある栄養成分、中性脂肪を燃焼するダイエット効果もあります。

「ゆず美人」目指していきましょう (M. S)

